

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和05年11月16日

計画の名称	芸術文化を育むにぎわい交流拠点整備計画												
計画の期間	平成29年度 ~ 令和03年度 (5年間)								重点配分対象の該当	○			
交付対象	秋田県, 秋田市												
計画の目標	千秋公園周辺地区は、かつては県内で最もにぎわいのある地域であったが、郊外への大型商業施設の進出や宅地開発等により、街のにぎわいが失われており、秋田市中心市街地活性化基本計画では、計画区域の中央部に位置付けている。このため、暮らし・にぎわい再生事業の都市機能まちなか立地支援等により、老朽化した県民会館および市文化会館の機能を集約する「あきた芸術劇場」を本地区に整備し、千秋公園をバックグラウンドとした「芸術文化ゾーン」として、一帯を面的に充実させ、周辺地区を含めた中心市街地のにぎわい創出・活性化を図る。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	25,392	A	25,392	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H29当初)	中間目標値 (H31末)	最終目標値 (R3末)
1	中心市街地における歩行者・自転車通行量(平日・休日の平均)を32,484人(H28)から35,000人(R3)に増加。 中心市街地の11地点の休日および平日における歩行者・自転車通行量を調査する(フォンテAKITA前(中小路側)、メガネ玉屋前、ヤマハ秋田店前、アトリオン前(広小路側)、木内前(広小路堀側)、キャッスルホテル前(中小路側)、大町公園橋、山下金物店前、ぼぼろーど(東口側)、アトリオン前(中小路側)、市民市場前)	32484人	人	35000人
2	中心市街地における芸術文化施設利用者数(1日当たり)を966人/日(H27)から1,530人/日(R3)に増加。 中心市街地の芸術文化施設利用者数を調査する(あきた芸術劇場、県立美術館、市立千秋美術館、佐竹史料館)	966人/日	人/日	1530人/日

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

歩行者・自転車通行量の現況値はH28.7月の数値文化施設利用者数の現況値はH27年度の数値(県民会館利用者数を含め算出)

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H29	H30	H31	R02	R03			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
住環境整備事業	A16-001	住宅	一般	秋田県	直接	秋田県	-	-	千秋公園周辺地区暮らし ・にぎわい再生事業	にぎわい交流施設整備 約2.4ha	秋田県						14,176	1.07	-
	A16-002	住宅	一般	秋田市	直接	秋田市	-	-	千秋公園周辺地区暮らし ・にぎわい再生事業	にぎわい交流施設整備 約2.4ha	秋田市						10,007	1.07	-
	A16-003	住宅	一般	秋田市	直接	秋田市	-	-	千秋公園周辺地区暮らし ・にぎわい再生事業	空きビル再生支援 約2.4ha	秋田市						1,209	1.07	-
											小計						25,392		
											合計						25,392		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
秋田県・秋田市において、目標値の達成状況等を確認した。	令和5年10月
	公表の方法
	秋田県・秋田市のウェブサイトに掲載する。
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	あきた芸術劇場及び秋田市文化創造館の開館により、周辺施設の利用者が増加するなど、中心市街地のにぎわい創出につながっている。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	あきた芸術劇場の開館により、著名なアーティストのコンサートや多彩なジャンルの舞台芸術公演等が開催されることで、県民・市民に高質な文化芸術の鑑賞機会が提供されている。
特記事項（今後の方針等）	
引き続き、あきた芸術劇場及び秋田市文化創造館を核に中心市街地のにぎわい創出・活性化を図る。	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	中心市街地における歩行者・自転車通行量（平日・休日の平均）を32,484人（H28）から35,000人（R3）に増加。		
	最終目標値	35000人	新型コロナウイルス感染症の感染拡大が人流に影響を及ぼしたことにより、目標値と実績値に差が出たが、令和3年に秋田市文化創造館が開館して以降は順調に増加している。
	最終実績値	27617人	
中心市街地における芸術文化施設利用者数（1日当たり）を966人／日（H27）から1,530人／日（R3）に増加。			
2	最終目標値	1530人／日	あきた芸術劇場が開館したことに加え、中心市街地における大規模なイベントや、芸術文化施設が連携したイベントを開催するなど、様々な取組を実施したことで多くの県民・市民が施設を利用した。
	最終実績値	1726人／日	

参考図面（社会資本整備総合交付金）

計画の名称	芸術文化を育むにぎわい交流拠点整備計画		
計画の期間	平成29年度 ～ 平成33年度（5年間）	交付対象	秋田県、秋田市

